



声 明 文

ベンキ・ピヤコ師及びアピウシャ(Apiwtxa)共同体の危機的状況について

私たちは、第 43 回庭野平和賞受賞者であるアシャニンカ族の精神的指導者ベンキ・ピヤコ師、そのご家族、並びに Apiwtxa 共同体の人々が、受賞の後、違法伐採組織や麻薬密売組織による生命を脅かす深刻な脅迫にさらされていることに重大な憂慮を抱いており、そのことをお伝えするためにこれを記しています。

私どもは、宗教的精神に基づく平和のための活動を称えるため、今から 48 年前の 1983 年に第 1 回を挙行した庭野平和賞の第 43 回人目の庭野平和賞受賞者として、ブラジルのベンキ・ピヤコ師を第 43 回庭野平和賞の受賞者に選定しました。5 月に日本へお迎えして、日本政府関係者、諸宗教の代表者、市民社会の関係者らが参列する中、贈呈式を執り行いました。

ベンキ・ピヤコ師とアピウシャ (Apiwtxa:彼の属するアシャニンカ族の共同体としての呼称) の人々は、先住民族の文化と人権を擁護し、先住民族の伝統的叡智と共同体の力により、暴力に訴えることなく、ブラジリアマゾンそしてペルーの自然環境と森林、そこに住む生命を護ってきました。その精神と活動は、自然環境の保全、人権の尊重及び人と自然との調和を願う世界の人々にとって、智慧と希望の象徴となっています。同師の受賞は国内外で広く紹介され、多くの人々に深い示唆と希望を与えました。

ベンキ・ピヤコ師は、私どもにとって、かけがえのない友人であると同時に、自然と人間との関係を生命と精神の深い結びつきとして捉える先住民族の叡智を、現代の私たちに伝える尊敬すべき導き手でもあるのです。今、その叡智と活動に、危害が加えられようとしています。

私どもは、この事態を国内外の宗教者、平和活動家、市民社会組織及び関係機関に広く伝えようとしています。国際社会の継続的な注視によって危害が抑止されることを願っているのです。

また、ベンキ・ピヤコ師及びアシャニンカ族の代表者たちは、現在の危機的状況と必要な対応をブラジル大統領閣下に直接訴えようとしており、ブラジル政府及び関係機関が直ちに措置を講じることを心から願っています。

アマゾンの森林と、そこに暮らす先住民族が受け継いできた叡智は、この地上の生きとし生けるすべての生命の安寧と持続可能のための、かけがえのない財産です。その尊い宝は、お金や物質で交換的に測られるものなどではなく、現代という困難な時代を生きる私たちにとって、そして、私たちの息子たちや娘たち、その子どもたち一人ひとりが持ち得る精神という宝なのです。

どうか私たちの祈りを、多くの人たち、それは森林の違法な伐採に従事することでしか生活を支えられない人たち、自らと他者の精神と肉体と人生を損なう麻薬の密売で生活をしようとする人たちも含め、困難の中にあっても、正しい道を何とか歩もうとする希望を心の中で持つ人々に、ともに祈ってほしいと私たちは願っています。

2026 年 7 月 24 日

公益財団法人庭野平和財団
理事長 庭野浩士